

教 区 報

# 山 口

発行／「御同朋の社会をめざす運動」山口教区委員会  
編集／広報部

No. 229

2023(令和5)年  
4月

## CONTENTS

- ご消息〈2023(令和5)年1月16日 発布〉
- 2022(令和4)年度定期教区会報告  
執務方針演説
- 2023(令和5)年度教区一般会計予算
- 親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年  
慶讃法要 参拝団一覧
- 各種行事報告/案内
- 別院・教区行事予定



山口中央幼稚園卒園参拝(3月10日)

## 新しい「領解文」(浄土真宗のみ教え)についての消息

本年三月には、「親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要」という記念すべきご勝縁をお迎えいたしました。このたびの慶讃法要は、親鸞聖人の立教開宗のご恩に深く感謝し、同じお念仏の道を歩む者同士が、あらためて同信の喜びを分かち合うためのご法要です。また、これを機縁として、特に若い人やこれまで仏教や浄土真宗に親しみのなかった人など、一人でも多くの方々に浄土真宗とのご縁を結んでいただきたいと思います。

伝道教団を標榜する私たちにとって、**眞実信心**を正しく、わかりやすく伝えることが大切であることは申すまでもありませんが、そのためには時代状況や人々の意識に応じた伝道方法を工夫し、伝わるものにしていかなければなりません。このような願いをこめ、令和三年・二〇二一年の立教開宗記念法要において、親鸞聖人の生き方に学び、次の世代の方々にご法義がわかりやすく伝わるよう、その肝要を「浄土真宗のみ教え」として示し、ともに唱和していただきたい旨を申し述べました。

浄土真宗では蓮如上人の時代から、自身のご法義の受けとめを表出するために『領解文』が用いられてきました。そこには「信心正因・称名報恩」などご法義の肝要が、当時の一般の人々にも理解できるよう簡潔に、また平易な言葉で記されており、領解出言の果たす役割は、今日でも決して小さくありません。

しかしながら、時代の推移とともに、『領解文』の理解における平易さという面が、徐々に希薄になってきたことも否めません。したがって、これから先、この『領解文』の精神を受け継ぎつつ、念仏者として領解すべきことを正しく、わかりやすい言葉で表現し、またこれを拝読、唱和することでご法義の肝要が正確に伝わるような、いわゆる現代版の「領解文」というべきものが必要になってきます。そこでこのたび、「浄土真宗のみ教え」に師徳への感謝の念を加え、ここに新しい「領解文」(浄土真宗のみ教え)として示します。

南無阿彌陀仏

「われにまかせよ そのまま救う」の 弥陀のよび声

私の煩惱と仏のさとりは 本来一つゆえ

「そのまま救う」が 弥陀のよび声

ありがとう といただいて

この愚身をまかす このままで

救い取られる 自然の浄土

仏恩報謝の お念仏

これもひとえに

宗祖親鸞聖人と

法灯を伝承された 歴代宗主の

尊いお導きに よるものです

み教を依りどころに生きる者 となり

少しづつ 執われの心を 離れます

生かされていることに 感謝して

むさぼり いかりに 流されず

穏やかな顔と 優しい言葉

喜びも 悲しみも 分かち合い

日々に 精一杯 つとめます

この新しい「領解文」（浄土真宗のみ教え）を僧俗を問わず多くの方々に、さまざまな機会で拝読、唱和いただき、み教えの肝要が広く、また次の世代に確実に伝わることを切に願っております。

令和五年 一月十六日  
二〇二三年

龍谷門主 釋 專 如

宗派ホームページよりご消息やお経本等への挟み込み用PDFデータ、解説を閲覧・ダウンロードいただけます。ご法座や研修会等でご活用いただければと思います。

宗派ホームページ URL

[https://www.hongwanji.or.jp/message/m\\_001985.html](https://www.hongwanji.or.jp/message/m_001985.html)

以下 QR コードからもご覧いただけます

勸学寮 解説



ご消息 (宗派 HP)



# 定期教区会開催

去る3月27日(月)に、別院本堂において、定期教区会(八木静也議長)が開催され、提出された財務議決議案・法規議案・承認議案は、原案通り可決された。議案は次の通り。

## 財務議決議案

2023(令和5)年度山口教区一般会計予算、特別会計予算(寺院災害見舞金会計、伝道車購入積立金会計、平衡資金会計、子ども・若者ご縁づくり推進費会計、親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年法要事務所会計)

2022(令和4)年度山口教区一般会計予算補正、特別会計予算補正(寺院災害見舞金会計、子ども・若者ご縁づくり推進費会計、親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年法要事務所会計)

## 法規議案

山口教区寺院振興対策委員会委員の任期の調整に関する区令

## 承認議案

山口教区下松組内護持口数調整について

## 2022(令和4)年度定期教区会 執務方針演説

教務所長 西本 浩二

本日ここに定期教区会を招集いたしましたところ、教区会議員の皆様におかれましては公私にご多用の中、ご参集いただきましたこと心より御礼申し上げます。

また、オンラインにてご出席いただいております議員の皆様におかれましては、機材の接続等ご協力をいただきましたこと併せて御礼申し上げます。

さて、2020(令和2)年、国内で初めて新型コロナウイルスに感染された方が確認されて以降、3年というたいへん長い月日が経過しましたが、今月からはマスクの着用は個人の判断が基本となり、5月にはコロナ感染症が2類相当から5類に移行することが予定されているなど、収束に向かって明るい兆しが見え始めてきたのではないのでしょうか。

この3年を振り返りますと、コロナ禍前と比べ世の中は大きく変化いたしました。

寺院活動においても、密集を防止するため、法事や葬儀をはじめとする仏事の簡略化が進み、さらにはご法座では中止や日程の短縮、参拝者数の制限など、お寺にとってもさらに厳しい状況に直面することとなりました。

しかしながら、オンラインを活用することで、これまであまりお寺とご縁のなかった方や、距離や体調などの

理由から参拝が難しい方々にも繋がりを広げることができました。

このように世の中が大きく移り変わっていく中で、私たちの宗門は常にその変化に対応した取り組みが必要であることをあらためて感じております。

ご本山の御正忌報恩講ご満座において、ご門主さまより、現代の私たちに理解しやすい言葉で記された、新しい「領解文」(浄土真宗のみ教え)をご消息としてお示しく下さいました。種々ご意見があることは承知しておりますが、これも常に変化する時代に即応していただいていることと感じております。

さて、ご本山では、いよいよ3月29日より親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要が厳修されます。今回のご法要は、計画段階においてコロナ禍であり、実際にご参拝をいただいでるの法要が実施できるのか? 手探りの中での準備となりました。もしご法要が3年前であったなら、社会がパニックの中で「法要の1年延期」や「参拝者無しでの内勤め」となっていたことでしょうか。実際には落ち着きを見せた中で、当初予定通りでのご法要となったことに安堵しております。従来のご法要とは参拝者規模としては少ない計画となりましたが、団体参拝の実施をはじめ、協賛行事として御影堂コンサートや、国内外の著名な方々

をお招きするシンポジウムの開催が予定されるなど、いよいよその気運が高まってまいりました。

山口教区内においても、すでにお待ち受けとしての法要・行事を終えられた組や、これから法要・行事を予定される組があるなど、法要をお迎えるムードの高まりを感じております。

そして、山口教区では、10月21日に教区独自の親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年の慶讃法要・記念行事を「KDDI維新ホール」にて勤修並びに開催いたします。現在、教区法要委員会において、法要や行事の具体的な内容に関する協議、記念事業として仏教讃歌のオルゴールCDの制作など、盛会となるよう準備を進めております。

さて、このたびの定期教区会に上程しました財務議決議案10件、法規議案1件、承認議案1件の概要について申し上げます。

まず、令和5年度の一般会計他予算案についてであります。令和5年度は「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動) 推進期間4か年度の最終年度にあたります。宗門全体で取り組む実践目標であります。へ貧困の克服に向けて「Data for World Peace」子どもたちを育むために――に向けた取り組みとして、子どもたちが置かれ

ている現状を学ぶことからはじめ、「御同朋の社会をめざす運動」山口教区委員会委員の皆さまのご提案やご協力をいただきながら、現在では本願寺山口別院を拠点に、各ご家庭やご寺院から未使用食品のご提供をいただき、それらを取りまとめ、子ども食堂や支援団体などにお届けする「フードドライブ」を実施できるまでに至りました。

次年度は、この取り組みがより多くの方々に周知され、「自他ともに心豊かに生きることのできる社会の実現に貢献する」という我々の願いが、一人でも多くの方々に伝わるよう策を講じるとともに、より広く支援ができる体制を整えてまいります。

また、当教区独自の実践目標である「部落差別をはじめとする人権問題への学びを深める」についてであります。本年度において、同朋研修会への講師派遣を目指すための「人権問題講師養成委員会」並びに、万が一、差別事象が発生した場合に迅速な対応を期すため「差別事象確認委員会」を實踐運動教区委員会に常設しました。また、人権啓発僧侶研修会向けの冊子「御同朋への学び―部落差別の現実と山口教区の取り組み―」を発刊し、次年度より研修に活用いたしたく考えております。併せて推進期間4か年度の最終年度でもありますので、これまでの点検

総括も行います。

次に、新型コロナウイルスの感染状況を把握しながらではありますが、現地に赴き、対面形式による研修・行事再開のご提案として、「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)の取り組みでは、2019(令和元)年を最後に実施が叶いませんでした、非戦・平和への取り組みとして「千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要」への参拝研修旅行、組織教化の一環であります「ご本山の御正忌報恩講団体参拝」、そして次年度が組長任期の最終年度でありますことから、同時期に慣例として実施しておりました組長を対象とする「親睦学習旅行」実施のほか、築地本願寺での「離郷門信徒のつどい」の開催を予定しております。

次に、現在宗派においては「宗派賦課金の賦課基準」に関する検討がなされていきますが、山口教区賦課金に関しましても賦課基準の公平性が保たれるよう、山口教区賦課基準等検討委員会において様々な協議が続けられてきました。

去る、2月20日付、同委員会委員長より当職宛「教区賦課金の算出要素に関する答申」が提出され、「現行の教区賦課金の算出要素の一つである護持口数に代わる算出要素としては、寺院の護持費(門徒会費)納付件数を基本

とする」との答申をいただき、今後は同委員会において、新算出要素導入に向けた具体的な方途に関する協議を続けながら、併せて宗派賦課金における新たな賦課要素が採用される時期やその内容を見据え、その対応に関する協議を含め今後進めてまいります。

次に、冒頭に申しましたご本山での親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要につきまして、山口教区からご本山へ参拝される約2000名の皆様をご本山でお迎えするため、当教区教務所職員を派遣いたします。

また、10月21日に勤修・開催されます教区慶讃法要・行事に向けた企画や準備のための会議開催や打ち合わせを行っており、だんだんと具体的な形が見えてきております。当日は、より多くの皆様にご縁に出遇っていただきますよう、この場をお借りいたしまして、ご参拝のご案内を申しあげます。

次に、法規議案における「山口教区寺院振興対策委員会設置規則の一部を変更する区令」案につきまして、この区令を根拠として設置されている「山口教区寺院振興対策委員会」は、過疎対策などをはじめとする寺院振興支援の効果的な推進実施、及び国内開教対策の促進を資するために設置されており、同委員会が審議されるべき内容か

ら、組長、「御同朋の社会をめざす運動」山口教区委員会役職者等で委員が構成されています。

しかしながら、これまで同委員会委員任期と、組長並びに実践運動教区委員任期との整合が取れておりませんことから、同時に委任、また任期満了となるよう、同委員会委員の任期を1年間延長することにより調整を図ろうとするものであります。

次に、承認議案であります。下松組にて組全体の口数を変更しない形での護持口数の組内調整が行われ、その結果の報告が教区にございました。それをを受け教区では今年1月18日に「2022(令和4)年度 第1回 山口教区護持口数調整委員会」を開催し、その調整内容について承認を得ましたが、護持口数調整については、法規において「最終的に教区会において承認を得る」必要がありますため、今定期教区会に上程させていただくものであります。

最後になりますが、職員体制について、山口教区教務所・本願寺山口別院に7年間勤務しております職員 阿部龍典(旧姓 石丸)が今年度末をもって退職することとなりました。近年は教区実践運動並びに教区法要委員会、広報部を、教化団体では、仏教婦人会連盟・保育連盟・仏教音楽連盟・若朋

会を、本願寺山口別院においては内陣の荘厳管理などを担当してもらいました。特に教区・別院における研修会や法要・法座のネット配信やホームページの管理、教区報の編集などの広報活動において、自身が持つその力を遺憾なく発揮して、コロナ禍における布教伝道活動に多大な貢献をしてもらいました。教務所長・輪番として、当人の退職は大変残念なことではありますが、新天地において、今まで以上にご法義宣布に邁進されるであろうと思っておりますし、また期待しております。なお、後任については宗派にて明年度新卒者として採用されました、下松組正覚寺衆徒 柳田慶慈 が本年4月1日より勤務いたしますことを申し添えさせていただきます。

以上、甚だ簡単ではございますが、明年度の宗務並びに上程議案について、ご説明申しあげました。議員の皆さまには意のあるところをご賢察いただき、このたびの定期教区会に提出いたします財務議決議案、法規議案、承認議案の全議案についてご審議のうえ、ご賛同賜りますようお願い申しあげ、執務方針演説といたします。

ご清聴ありがとうございました。

## 山口教区フードドライブにご協力をいただき誠にありがとうございます！

昨年11月より教区内全寺院、門徒推進員、各教化団体、別院常例参拝者にむけて呼びかけたところ、多くのご協力をいただきました。次年度も継続して取り組んでまいりますのでよろしく願いいたします。

### 現況報告

教区内寺院や門信徒、教化団体より59件(3月現在)

お米・もち米(676kg)・麺類・菓子・調味料・油・のり・ふりかけ・ウインナー・インスタント類  
飲料・絵本・カタログギフト等

### 届け先

みんなや食堂(宇部)・深川ルンルン食堂(長門)・なのはな食堂(山口)

やない白壁食堂(柳井)

10日だよ全員集合(周南)

からと子ども食堂縁(下関)

かいほく地域食堂(防府)

### 活用

子ども食堂での調理に使用するだけでなく、食材を小分けして来場者へ直接配布する等



やない白壁食堂



かいほく地域食堂

# 2023(令和5)年度 山口教区一般会計歳計予算

自2023(令和5)年4月1日 至2024(令和6)年3月31日

## 歳入の部 (単位:円)

前年度繰越金 7,800,000

①前年度繰越金 7,800,000

特別会計回付金 2,000

①(特)伝道車購入積立金会計 1,000  
②(特)平衡資金会計 1,000

雑収入 889,000

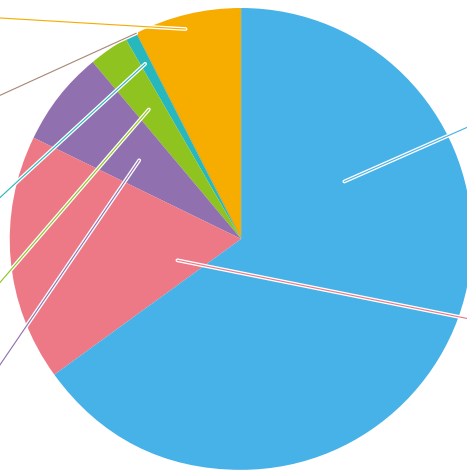
①雑収入 889,000

各種願記冥加金 3,000,000

①各種願記冥加金 3,000,000

参加費収入 7,280,000

①参加費収入 7,280,000



教区賦課金 69,754,000

①普通賦課金 63,561,900  
本年度賦課金 63,548,550  
過年度賦課金 13,350  
②特別賦課金 6,192,100  
別院御仏飯料 4,317,100  
災害見舞協力金 1,875,000

交付金 18,175,000

①宗派交付金 17,425,000  
②その他交付金 750,000

歳入合計 106,900,000

## 歳出の部 (単位:円)

予備費 792,900

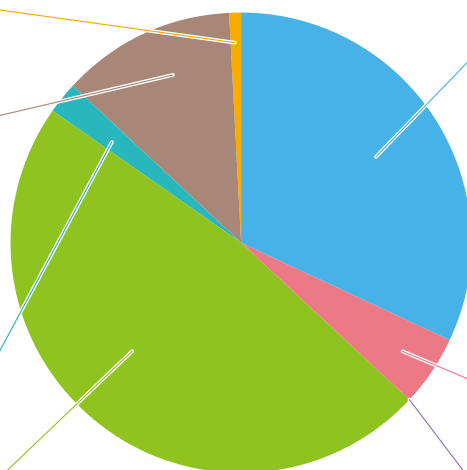
①第一予備費 292,900  
②第二予備費 500,000

回付金 12,942,100

①山口別院一般会計回付金 9,567,100  
別院御仏飯料回付金 4,317,100  
別院運営費回付金 5,000,000  
退職積立金回付金 250,000  
②(特)寺院災害見舞金会計 1,875,000  
③(特)伝道車購入積立金会計 300,000  
④(特)平衡資金会計 100,000  
⑤(特)子ども・若者ご縁づくり推進費会計 100,000  
⑥(特)山口教区法要事務所会計 1,000,000

完納奨励教化費 2,500,000

①完納奨励教化費 2,500,000



教化推進費 34,150,000

①実践運動推進費 20,155,000  
教区実践運動推進費 1,865,000  
人権社会活動推進費 1,770,000  
寺院活動支援推進費 1,300,000  
広報推進費 4,540,000  
門信徒教化推進費 4,440,000  
実践運動推進会議費 2,950,000  
組織教化費 3,290,000  
②人材育成費 260,000  
得度講習会開催費 260,000  
③組実践運動推進費 13,735,000  
組巡回費 50,000  
組交付金 13,685,000

会議費 5,360,000

①教区会費 1,470,000  
②組長会費 3,140,000  
③各種会議費 750,000

宗会議員選挙費 100,000

①宗会議員選挙費 100,000

歳出合計 106,900,000

教務所費 51,055,000

①人件費 43,845,000 俸給 22,900,000 諸手当 5,025,000 賞与 9,020,000 福利費 6,900,000  
②事務費 5,890,000 通信費 2,350,000 出張費 600,000 備品費 300,000 事務諸費 2,640,000  
③諸費 1,320,000 慶弔費 350,000 渉外費 110,000 雑費 200,000 伝道車関係費 660,000

親鸞聖人御誕生850年 慶讃法要 各組参拝日一覧表  
立教開宗800年 3月末日時点

参拝日		参拝団	人数	担当職員	
3月30日(木)	午後	大島組	6名	阿武正法	
		美和組	38名		
		宇部北組	60名		
		周南組	37名		
		大津東組 仙崎・南	16名		
		下松組 勝賢寺	9名		
4月1日(土)	午前	熊南組 報土寺	19名		
	午後	白滝組	36名		
		厚狭西組	35名		
		阿武組	28名		
		大津西組 1班	33名		
		邦西組 1班	18名		
4月3日(月)	午前	豊浦西組	42名	津守真悠	
		萩組 1班	36名		
		大津東組 深川班	16名		
		美祢西組	45名		
4月10日(月)	午後	須佐組	41名		
		大津東組 三隅班	19名		
		玖珂西組	14名		
		宇部小野田組 1班	45名		
		岩国組 1班	32名		
4月11日(火)	午後	柳井組	38名		榛澤正信
		萩組 明安寺	7名		
		熊毛中組 浄泉寺	42名		
		熊毛中組 浄圓寺	20名		
		下松組	33名		
4月13日(木)	午前	防府組	90名		
	午後	熊濃組	35名		
		豊田組	31名		
		邦西組 2班	25名		
		豊浦組 1班	70名		
4月25日(火)	午前	熊南組	45名	久保史生	
	午後	大津西組 2班	18名		
		小月組	45名		
4月28日(金)	午前	山口南組	73名	阿武正法	
		宇部小野田組 2班	50名		
		美祢東組 明教寺	32名		
		萩組 2班	45名		
5月9日(火)	午前	山口北組	42名	津守真悠	
		熊毛中組 すおう班	31名		
		下関組	33名		
		岩国組 2班	30名		
	午後	華松組	40名		
		熊毛中組	30名		
		熊毛組 光立寺	22名		
		岩国組 3班	32名		
5月16日(火)	午後	美祢東組	63名	榛澤正信	
		宇部小野田組 3班	45名		
		熊毛組 2班	40名		
		合計	1,732名		



# 寺院サポーター研修会

2月16日(木)

寺院活動支援部 部長 日高殊恵

実践運動寺院活動支援部主催で「山口教区寺院サポーター研修会」を開催し、シニア生活文化研究所所長 小谷みどり先生を講師に迎え、「高齢多死社会の葬送のゆくえ」と題し、お話をいただきました。

小谷先生は、第十一次宗勢基本調査にも調査研究員として携わっておられ、調査結果などを交えて高齢多死社会の背景について詳しくお話いただきました。

2021年の調査では高齢化率35・0%で全国3位、65歳以上のみの世帯割合は36・2%で全国1位という山口県。若年層が県外に流出し人口はどんどん減少するうえ、高齢化率は加速しているということも改めて知りました。

近年、葬儀や法事の形式は大きく変化しています。「家族葬」や「直葬」という言葉が定着し、儀式が短縮化される傾向にあるなかで、寺院は門信徒の思いに



講師 小谷みどり氏

ちゃんと気づけているのでしょうか。墓地の承継問題などが顕在化してきている中で、寺院と門徒という関係が門徒にとって「負の遺産」になる恐れがあると指摘されたうえで、変わりゆく社会の動向を知り、現代社会における寺院活動のあり方を考えることがとても大切であると話されました。

このような状況に対してこれからお寺はどう対応していかねければならないのか。小谷先生は講演の締め括りとして自身の活動事例を交えながら「法座などの宗教的行事だけでなく、地域特性に応じた行事を行ってほしい」とご提案くださいました。人口減少や高齢化にともない、今までの「家」と「寺」の関係性も変化しつつある現代社会において、今後の寺院運営、また住職、寺族、門徒として何ができるかを考える機会をいただいた研修会でありました。

当日は現地・オンライン視聴を含めて約80名のご参加をいただきました。研修会の様子は本願寺山口別院のYouTubeチャンネルに動画がありますので、ぜひご覧ください。



# 山口教区同朋運動研修会

3月8日(水)

「御同朋の社会をめざす運動」山口教区委員会では、毎年、人権や非戦平和について学ばせていただく「同朋運動研修会」を開催しています。

昨年は、1922(大正11)年3月3日、全国水平社創立大会が京都岡崎で開催されてから100年、その節目となる同じ年の7月に、文豪島崎藤村の不朽の名作である『破戒』が60年ぶりに映画化され、全国で上映されました。

ところが、全国各地で上映されたものの、山口県内の映画館では現在のところ上映されていませんでした。そこで、より多くの方々にこの作品を鑑賞していただき、映画を通じて差別・被差別からの解放についてともに学ぶため、今年度の同研修会を企画し、幸い、本願寺山口別院で同作品を上映する機会をいただくことができました。

映画を鑑賞させていただいて、当時の部落差別の現状と、部落差別の

本質そのものについて学ばせていただいたように思います。映画の舞台となった当時とは形は異なっていますが、部落差別は現在においても続いており、差別の本質そのものは何も変わっていないのではないのでしょうか。

そのことを考えますと、水平社宣言から100年が経過した現在も、部落差別がなくなっていないことを重く受け止め、差別・被差別からの解放に向けた継続した人権への学びが必要であることをあらためて感じさせていただく機会となりました。



映画『破戒』

## 若朋会第2回例会

2月6日(月)

「寺院のデジタル化」と題して若朋会第2回例会が本願寺山口別院を会場に開催され、20名の会員が参加しました。講師には渡邊コーポレーション代表取締役社長・宇部小野田組報恩寺ご住職の渡邊和憲氏をお招きし、DX(デジタルトランスフォーメーション)を寺院に取り入れるメリット・デメリット、また今後の展望についてお話をいただきました。

寺院のデジタル化を進める上で、DXを取り入れることが目的になってしまわないように注意する必要があります。まずは、デジタル化したほうが便利なもの、紙等のアナログ媒体の方が便利なものを精査することから始め、「ここをデジタル化すると便利、労力が減る」という所からDXを取り入れていくことが重要と説明がありました。



講師 渡邊 和憲 氏

また、今後の展望として、社会全体がDX等を取り入れ業務が簡潔になっていくことで、生活の中での余暇が増え、宗教、また寺院への関心が高まる可能性があります。またその一方、VRやARといった技術が発展していくことで、寺院への参詣のあり方が変化することも考えられるなど、講師の見識を述べられました。

今後、より一層寺院、また僧侶が選択される立場になり、これらを担う若い世代の僧侶を刺激する、大変意義深い研修会となりました。

## 山口みのり会第70回研修会

2月7日(火)～8日(水)

法友の輪をあたためあいながら、研修の場を持ち生涯聞法の充実に資することを目的に展開する山口みのり会(楊井敦子会長 萩組 蓮正寺所属)。昭和59年4月1日発足以来、第70回の節目を迎えた研修会を一泊二日、中島昭念長門市油谷の楊貴館にて会員30名参加で開催いたしました。

温泉地でのご法話聴聞かつ話し合い法座がおこなわれ、参加者一人ひとり悲喜交々の人生についてゆつくり語りながらお念仏のよろこびを味わう内容でした。コロナ禍において久しぶりでありましたが、マスク着用しながらも対面の喜びいっぱいこの研修会となりました。



講師 中島 昭念 氏



研修初日(光福寺)

本派宗教教誨管区支部(安芸・山陰・備後・山口)の活動促進(教区支部間の連携)及び教誨・篤志面接活動の自己点検と情報資料収集のため、広島矯正管区内教誨師、篤志面接委員19名参加のもと山口教区支部引き受けて開催いたしました。

初日は刑事法一般、受刑者の権利、監獄の歴史、死刑問題、宗教教誨、先端医療と生命倫理などに取り組まれる石塚伸一(龍谷大学犯罪学センター長)から「再犯防止と社会復帰」教誨への期待」を題し、ご講義いただきました。

**矯正教化連盟 広島管区支部研修会**  
 2月9日(木)〜10日(金) 岩国組光福寺・岩国刑務所



研修2日目(岩国刑務所)

2日目は中国地方で唯一の女性受刑者専門の刑務所である岩国刑務所を見学しました。昨今、施設運用に大きな影響を与えているのは、受刑者の高齢化問題。特に女性刑務官の定着率にも影響を与えており、高齢受刑者の入浴の際の着替えや個別対応など、負担が大きくなっているそうです。

そのほか、社会復帰に向けての教科指導や工場設備の見学等丁寧な説明をいただき、充実した研修内容となりました。



**親鸞聖人御誕生850年 立教開宗800年 慶讃法要** ~ご縁を慶び、お念仏とともに~

寺院の皆様におかれましても、新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じながら徐々に寺院活動を再開されることと思います。ご法要や、子ども・若者ご縁づくりなどの寺院活動における思いがけない事故には、参拝者のケガや賠償責任事故のほか、お齋など食事を提供する際に発生する食中毒などがあります。行事開催の際には万全な準備を行い、安全に執り行いましょう。

**万が一の事故に備え、『寺院活動行事保険』をご検討ください。**

《ケガ・見舞金》  
 清掃奉仕中に  
 転倒して骨折した



《生産物 賠償責任》  
 子ども会で提供した  
 カレーが原因で食中毒



《賠償責任》  
 住職が自転車で法要に向かう際、  
 歩行者にぶつかってケガを負わせた



『寺院活動行事保険』は年間包括契約のため、行事の都度の人数報告や申込・入金手続きが不要です。



**寺院での火災が多発しています!!**

平成30年以降 宗派内で発生した寺院火災13件のうち、10寺院が「本堂」を全焼しています。火災により、本堂や庫裏が全焼してしまうと、再建までに長い年月と多額の費用が発生します。万一の火災や自然災害に備え、『寺院災害保険』をご検討ください。



浄土真宗本願寺派提携保険代理店 株式会社プラニ TEL:0120-37-0243

福祉車輛贈呈式

2月15日(水)

平成5年より毎年、山口県内の社会福祉協議会等に福祉車輛、軽自動車を贈呈しております。

今回は長門市社会福祉協議会、萩市社会福祉協議会へ車輛をお贈りし、延べ62台の車輛を各地で活用していただくこととなりました。昨年度も皆さまに多大なご協力を賜りましたこと、厚く御礼申しあげます。

贈呈式には西本浩二教務所長、実践運動委員会 寺院活動支援部 日高殊恵部長、仏婦連盟 西喜久枝委員長にご出席をいただき、仏教婦人会連盟及び寺院活動支援部の取り組みを含めてご挨拶をいただきました。

本年も引き続き、「自他ともに心豊かに生きることのできる社会」の実現を目指し、福祉募金、ダーナ献金にご協力賜りますようお願い申し上げます。

2022(令和4)年度

福祉募金進納者一覧(敬称略)

・岩国組	善福寺/常善寺	・美称東組	正現寺
・美和組	宗清寺/明覚寺	・美称西組	西宝寺/組事務所
・玖珂西組	正覚寺	・萩組	端坊/浄國寺
・柳井組	西教寺	・阿武組	永照寺
・岩国北組	明厳寺/明照寺	・須佐組	正楽寺
・大島組	安楽寺/長泉寺	・邦西組	法隆寺/光讚寺
・熊毛中組	正福寺/安立寺	・豊田組	妙權寺/尊正寺
・熊南組	善教寺/願行寺	・小月組	教專寺/西法寺
・熊毛組	浄蓮寺/教西寺	・下関組	西福寺/組事務所
・下松組	正信寺	・豊浦西組	龍雲寺/善福寺
・周南組	常満寺	・山口教区仏教壮年会連盟	常正寺
・防府組	真福寺	・山口教区寺族婦人会連盟	西教寺/妙久寺
・山口南組	浄願寺/浄蓮寺	・山口教区寺族婦人会連盟	善照寺
・山口北組	徳応寺/最勝寺	・山口教区寺族婦人会連盟	清徳寺/正念寺
・華松組	妙誓寺	・小月組	明教寺
・宇部小野田組	光明寺/超勝寺	・下関組	西蓮寺
・厚狭西組	信光寺/蓮光寺	・豊浦西組	組事務所
・宇部北組	養元寺/眞證寺	・山口教区寺族婦人会連盟	報恩寺
・宇部北組	西福寺/明榮寺	・山口教区寺族婦人会連盟	組事務所
・宇部北組	蓮光寺/浄円寺	・山口教区寺族婦人会連盟	組事務所
・宇部北組	照明寺	・山口教区寺族婦人会連盟	組事務所
・宇部北組	光圓寺/願生寺	・山口教区寺族婦人会連盟	組事務所
・宇部北組	専光寺/組事務所	・山口教区寺族婦人会連盟	組事務所
・宇部北組	萬福寺/常光寺	・山口教区寺族婦人会連盟	組事務所
・宇部北組	組事務所	・山口教区寺族婦人会連盟	組事務所

合計 122万5370円

福祉募金にご協力いただき誠にありがとうございます。

今後とも教区内福祉施設を中心に支援活動を行ってまいります。

ウクライナ難民支援金 進納者一覧(敬称略)

・周南組	妙誓寺/西光寺
・山口南組	正法寺仏教婦人会
・阿武組	仏教婦人会
・須佐組	瑞光寺
・小月組	西秀寺・玉林寺
・山口中央幼稚園父母の会	浄蓮寺仏教婦人会
・山口南組教證寺仏教婦人会	浄蓮寺仏教壮年会
・宇部小野田組仏教婦人会	西光寺
・美称東組明林寺仏教婦人会	西光寺
合計	38万6430円

トルコ・シリア地震支援金 進納者一覧(敬称略)

・山口南組教證寺仏教婦人会	合計	13万円
・宇部小野田組仏教婦人会		
・美称東組明林寺仏教婦人会		

各地へのご支援、誠にありがとうございます。 お願いいたします。 お預かりしました支援金は宗派たすけあい募金等を通して現地でご活用させていただきます。

# 本願寺山口別院 『永代経法要』

(教区全門徒物故者追悼法要)

**期日** 6月8日(木)・9日(金)・10日(土) 日中：午前10時より 逮夜：午後1時30分より

**講師** 藤澤信照氏 (本願寺派布教使・滋賀教区浄光寺)

※おとき齋をご用意しております。有縁の方お誘い合わせ、お参り下さい。

組別参拝日

● 8日

岩国組、美和組、  
玖珂西組、熊毛組、  
厚狭西組、宇部北組、  
美祢西組、萩組、  
阿武組、下関組、  
豊浦西組

● 9日

柳井組、岩国北組、  
防府組、山口北組、  
宇部小野田組、  
美祢東組、須佐組、  
大津東組、邦西組、  
豊田組、小月組

● 10日

大島組、熊毛中組、  
熊南組、熊濃組、  
下松組、周南組、  
山口南組、華松組、  
大津西組、白滝組、  
豊浦組

## 2023(令和5)年度 山口教区得度講習会・得度考査期日

得度講習会 第1回 2023(令和5)年 8月21日(月)～22日(火)  
第2回 2024(令和6)年 2月17日(土)～18日(日)

得度考査 第1回 2023(令和5)年 8月23日(水)  
第2回 2024(令和6)年 2月19日(月)  
第3回 2024(令和6)年 2月24日(土)

## 本願寺山口別院テレホン法話 083-973-0111 担当者一覧

期間：2023.4.1～2023.7.31

期日	氏名	期日	氏名
4月 1日～10日	中山 信知	5月 1日～10日	原田 英真
11日～20日	佐々木世雄	11日～20日	高橋 了
21日～30日	波佐間正弘	21日～31日	藤本 好樹
6月 1日～10日	黒瀬 英世	7月 1日～10日	重枝 真紹
11日～20日	寺田 弘信	11日～20日	岡村 遵賢
21日～30日	田坂亜紀子	21日～31日	藤本 弘信

※上記の青年布教使による各3分の法話が聞けます。諸事情により、順番が変更される場合があります。

別院・教区行事

Calendar of events from April to June, listing dates, event names, speakers, and venues.

敬 弔

Table of memorial services (敬弔) with columns for group names, names, dates, and times.

実践運動山口教区委員会 広報部スタッフ募集中

Text regarding recruitment for the Publicity Department staff of the Practical Movement Yamaguchi Diocese Committee.

編集後記

Text for the 'Afterword' (編集後記) section, reflecting on the magazine's content and production.